

～ 商店街認知度UP大作戦 ～

共通の悩みを抱える3つの商店街を舞台に、地域の子供たちが1日限定で仕事体験する「商店街キッズニア」や、商店街とお店や商品を題材にした「ダジャレコンテスト」を開催。子供を主役にした明るく楽しい商店街の取り組みが、子育て世代層を呼び込む起爆剤となった。

所在地：宮崎県延岡市山下町2-5-20
TEL：0982-35-1075 FAX：0982-35-1075
URL：—
3商店街の連携体 所属員数：62名
商店街の類型：地域型商店街

商店街の概要と事業を実施した背景

県内屈指の工業都市である延岡市のJR延岡駅の西に位置し、連たんする3つの商店街である。交通の安全性や利便性から近隣学校の通学路として利用されており、日常生活必需品を扱う小売店を中心に構成され、地域住民の憩いの場、生活インフラの一部を担っている。一方で、周辺地域に大型商業施設やスーパーが進出する等、地域の商業環境が厳しい状況となってきたことに加え、経営者の高齢化と後継者不足が共通の問題となっている。

そこで、商店街にかつての賑いを取り戻すために、駅周辺の3商店街が連携して共通の地域課題に取り組み、明るい商店街へのイメージアップと認知度向上を図ることを目指して事業を実施した。

実施した事業の概要

①商店街キッズニアの開催

平成27年2月15日(日)子供たちに商品の販売や接客体験など、様々な職業の疑似体験をしてもらうことで、楽しみながら地元の商店街のお店や、社会の仕組みを学んでもらおうと初めて企画した。歩行者天国となった大師通り商店街を会場にして開催。参加費は無料で、当初予定していた500名を大幅に上回る参加希望者があり、会場に来てくれたが参加できない子供もいるほどの大盛況だった。商店街からは約30店が参加し、お菓子や飲食物の販売、床屋、補正屋、ラジオ局のアナウンサー、新聞記者などが体験できた。また、税の仕組みを学んだり、医者や自衛官になって写真を撮れるコーナーも設け、あちこちで子供たちの笑顔があふれた。この日の集客数は約2,000名となった。

②商店街ダジャレコンテストの開催

事前にチラシ兼応募用紙を配布された地元小学生や、地域新聞広告や観光協会等に設置した応募用紙を見た方が、近接する3つの商店街のお店を巡って、思いついたダジャレを応募用紙に記入し、各店舗設置の応募ボックスに投函。なお、対象となるだじゃれは商店街名、町並み、参加店舗の名称や商品・看板などをもじったものである。1月25日～2月15日の応募期間中、応募総数500名の中から選ばれた優秀な作品には、地元特産品(カンパチ、地元産野菜果物詰合せ等)の豪華賞品をプレゼント。作品を店舗前に掲示したことで、多くの来街者の目にとまり、話題を呼んで賑わいにつなげることができた。



成果と成功の要因

2つの事業は今回が初めての企画であったが、子育て世代を中心とした近隣住民からは「またやってほしい」「今度はいつやるの」など、次回開催を期待する声も多く、商店街認知度の向上、明るい商店街のイメージアップに大いに貢献できた。商店街の認知度が上がるとともに、地域との結びつきの強化も図れ、通行量の増加や空き店舗の減少にもつながった。

事業の開催に当たっては、3商店街各々の青年部・女性部が分担して実施したことにより、細部にまで目の行き届いた事業が開催された。特に、ダジャレコンテストにおいては、応募用紙を観光協会や市公共機関に設置するなど他機関と広報面で連携したことで、このユニークな取り組みが市民の注目を集めた。

今後の取り組み

本事業の実績を踏まえ、来年度以降も、3商店街並びに他機関との連携を維持することで、共通の地域課題に取り組みながら駅周辺の一体的なまちづくりを展開していく。さらに、事業活動の協力者も募って企画内容の拡充を図りつつ、イベント期間中の一過性の賑わいではなく、商店街の中に常に何か楽しいことが起きている日常的な賑わいを目指していく。資金の手当ては、商店街の自己資金や各店舗からの負担金、企業や地域からの協賛金等によって事業を継続していく。